

平成 17 年

(2005)

患者調査の概況

目 次

	頁
調査の概要	1
結果の概要	3
1 推計患者数	
(1) 施設の種類・性・年齢階級別	3
(2) 傷病分類別	5
ア 入院患者	5
イ 外来患者	6
(3) 病床の種類別	7
(4) 在宅医療の状況	8
(5) 紹介の状況	9
(6) 救急の状況	10
(7) 都道府県別にみた推計流入・流出患者の状況	11
2 受療率	
(1) 性・年齢階級別	12
(2) 傷病分類別	14
(3) 都道府県別	15
3 入院患者の状況	
(1) 入院の状況	16
(2) 心身の状況（療養病床等）	16
4 退院患者の状況	
(1) 退院患者平均在院日数	17
ア 施設の種類・年齢階級別	17
イ 傷病分類別	18
ウ 都道府県別	19
(2) 在院期間	20
(3) 手術前在院日数・手術後在院日数	21
(4) 入院前の場所・退院後の行き先	22
(5) 退院の事由（転帰）	23
5 主要な傷病の総患者数	24
統計表 1～13	27
参考 受療率の算出に用いた人口	41

平成 17 年患者調査の結果は厚生労働省のホームページにも掲載されています。

アドレス (<http://www.mhlw.go.jp/>)

調 査 の 概 要

1 調査の目的

この調査は、病院及び診療所（以下「医療施設」という。）を利用する患者について、その傷病状況等の実態を明らかにし、医療行政の基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の対象及び客体

全国の医療施設を利用する患者を対象とし、層化無作為により抽出した医療施設における患者を客体とした。

	施設数	抽 出 率	客 体 数	
			入院・外来	退 院
病 院	6,594	入院 7.3/10 , 外来 3.7/10	212.8 万人	92.5 万人
一般診療所	5,806	6.7/100	27.7	1.1
歯科診療所	1,275	2/100	2.8	

注： 歯科診療所は、外来のみの調査である。

3 調査の期日

病院については、平成17年10月18日～20日（火～木）の3日間のうち病院ごとに指定した1日とし、診療所については、平成17年10月18日（火）、19日（水）、21日（金）の3日間のうち診療所ごとに指定した1日とした。

なお、診療所については、今回は調査日を休診の多い木曜日を避け、火曜日、水曜日及び金曜日に変更した。

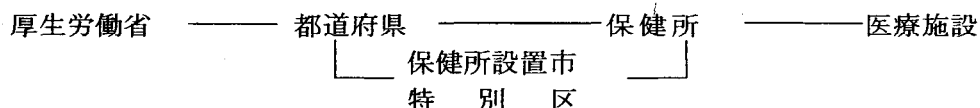
また、退院患者については、平成17年9月1日～30日までの1か月間とした。

4 調査事項

性別、出生年月日、患者の住所、入院・外来の種別、受療の状況等

5 調査の方法及び系統

医療施設の管理者が記入する方式によった。



6 結果の集計

厚生労働省大臣官房統計情報部において行った。

なお、医療施設に関する情報の一部は平成17年医療施設静態調査の結果を用いた。

7 用語の説明

(1) 推計患者数

調査日当日に、病院、一般診療所、歯科診療所で受療した患者の推計数である。

(2) 推計退院患者数

調査対象期間中（平成17年9月1日～30日）に病院、一般診療所を退院した患者の推計数である。

(3) 退院患者平均在院日数

調査対象期間中（平成17年9月1日～30日）に退院した患者の在院日数の平均である。

(4) 受療率

推計患者数を人口10万対であらわした数である。

受療率（人口10万対）＝推計患者数／国勢調査人口×100,000

(5) 総患者数（傷病別推計）

調査日現在において、継続的に医療を受けている者（調査日には医療施設で受療していない者も含む。）の数を次の算式により推計したものである。

総患者数＝入院患者数＋初診外来患者数＋再来外来患者数×平均診療間隔×調整係数（6/7）

(6) 病床の種類

精神病床

精神疾患を有する者を入院させるための病床をいう。

感染症病床

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(平成10年法律第114号)に規定する一類感染症、二類感染症及び新感染症の患者を入院させるための病床をいう。

結核病床

結核の患者を入院させるための病床をいう。

療養病床

病院の病床（精神病床、感染症病床、結核病床を除く。）又は一般診療所の病床のうち主として長期にわたり療養を必要とする患者を入院させるための病床をいう。

一般病床

精神病床、感染症病床、結核病床、療養病床以外の病床をいう。

8 利用上の注意

(1) 本調査における傷病の分類にあたっては、世界保健機関（WHO）の「国際疾病、傷害および死因統計分類（ICD）」に基づき分類している。

なお、平成8年の調査から「第10回修正国際疾病、傷害および死因統計分類（ICD-10）」を適用している。

(2) 表章記号の規約

計数のない場合	—
計数不明又は計数を表章する事が不適当な場合	…
統計項目のありえない場合	・
推計値、比率等でまるめた結果が表章すべき最下位の桁の1に達しない場合	0又は0.0

(3) 掲載の数値は、単位未満を四捨五入しているため、内訳の合計が総数に合わない場合もある。

(4) 人口10万対算出のため用いた人口は、「平成17年国勢調査」(総務省統計局)一按分済み人口（総人口127,767,994人）である。

(5) 傷病分類別の推計患者数は、主傷病についてみたものである。

結 果 の 概 要

1 推計患者数

調査日に、全国の医療施設で受療した推計患者数は、入院 146 万 3 千人、外来 709 万 2 千人である。

(1) 施設の種類の性別・年齢階級別

入院患者 146 万 3 千人について施設の種類の別みると、病院 139 万 2 千人（入院患者の 95.1%）、一般診療所 7 万 1 千人（同 4.9%）となっている。性別にみると、男 67 万 4 千人（同 46.0%）、女 78 万 9 千人（同 54.0%）で、年齢階級別にみると 65 歳以上が 93 万 8 千人（同 64.1%）となっている。

外来患者 709 万 2 千人について施設の種類の別みると、病院 186 万 6 千人（外来患者の 26.3%）、一般診療所 394 万 9 千人（同 55.7%）、歯科診療所 127 万 7 千人（同 18.0%）となっている。性別にみると、男 300 万 2 千人（同 42.3%）、女 409 万人（同 57.7%）で、年齢階級別にみると、65 歳以上が 307 万 8 千人（同 43.4%）となっている。（表 1）

表 1 年齢階級別にみた施設の種類の推計患者数

(単位：千人) 平成17年10月

	入 院			外 来			
	総 数	病 院	一 般 診 療 所	総 数	病 院	一 般 診 療 所	歯 科 診 療 所
総 数	1 462.8 (1 451.0)	1 391.6 (1 377.6)	71.2 (73.4)	7 092.4 (6 478.0)	1 866.4 (1 952.5)	3 948.9 (3 377.6)	1 277.2 (1 147.9)
男	673.6	649.4	24.2	3 002.1	858.4	1 594.3	549.4
女	789.2	742.2	47.0	4 090.3	1 007.9	2 354.6	727.8
0 歳	11.0	10.8	0.2	66.6	17.8	48.8	-
1 ~ 4	9.1	8.8	0.4	293.9	51.5	220.4	22.1
5 ~ 9	6.7	6.7	0.1	239.8	35.2	142.7	62.0
10 ~ 14	6.6	6.5	0.1	144.3	23.6	85.1	35.6
15 ~ 19	8.8	8.5	0.2	125.8	25.8	72.8	27.2
20 ~ 24	15.6	14.2	1.4	170.9	39.7	86.1	45.1
25 ~ 29	24.7	22.0	2.8	225.0	57.8	109.1	58.1
30 ~ 34	33.8	30.9	2.9	285.8	74.8	139.0	72.1
35 ~ 39	32.9	31.1	1.7	273.9	68.5	133.9	71.4
40 ~ 44	35.4	34.4	0.9	285.3	72.0	133.4	79.9
45 ~ 49	44.2	43.1	1.1	284.5	78.5	135.5	70.5
50 ~ 54	71.3	69.4	1.9	396.0	111.3	185.4	99.3
55 ~ 59	106.7	103.6	3.1	569.8	162.0	280.0	127.8
60 ~ 64	115.2	111.9	3.3	633.3	179.0	322.7	131.6
65 ~ 69	132.2	128.2	4.0	699.1	200.6	383.3	115.2
70 ~ 74	166.6	160.0	6.6	855.7	234.3	500.8	120.6
75 ~ 79	185.9	176.6	9.4	742.5	207.6	457.8	77.0
80 ~ 84	177.5	166.3	11.2	467.8	132.7	296.8	38.2
85 ~ 89	145.5	135.4	10.1	216.9	62.7	139.1	15.1
90歳以上	129.7	120.2	9.5	96.0	27.0	65.6	3.4
不 詳	3.3	3.0	0.3	19.5	4.0	10.5	5.0
(再 掲)							
65歳以上	937.5	886.7	50.7	3 077.8	864.9	1 843.4	369.5
70歳以上	805.2	758.5	46.7	2 378.8	664.3	1 460.1	254.4
75歳以上	638.6	598.4	40.2	1 523.1	430.1	959.3	133.8

注： () 内の数値は、平成14年の値である。

施設の種別別に年次推移をみると、入院では、病院は平成2年まで増加傾向にあり、平成5年には減少したものの、平成8年で再び増加し、平成11年からはほぼ横ばいである。一般診療所は減少傾向にあったが、平成5年からはほぼ横ばいである。外来では、病院は平成11年から減少しているが、一般診療所及び歯科診療所では平成17年は増加している。(図1、統計表2)

年齢階級別にみると、入院では0～14歳、15～34歳及び35～64歳の減少傾向が継続し、65歳以上は増加傾向にある。外来では、15～34歳の減少傾向が継続しているが、0～14歳、35～64歳及び65歳以上では、平成17年は増加している。(図2、統計表6)

図1 施設の種別別にみた推計患者数の年次推移

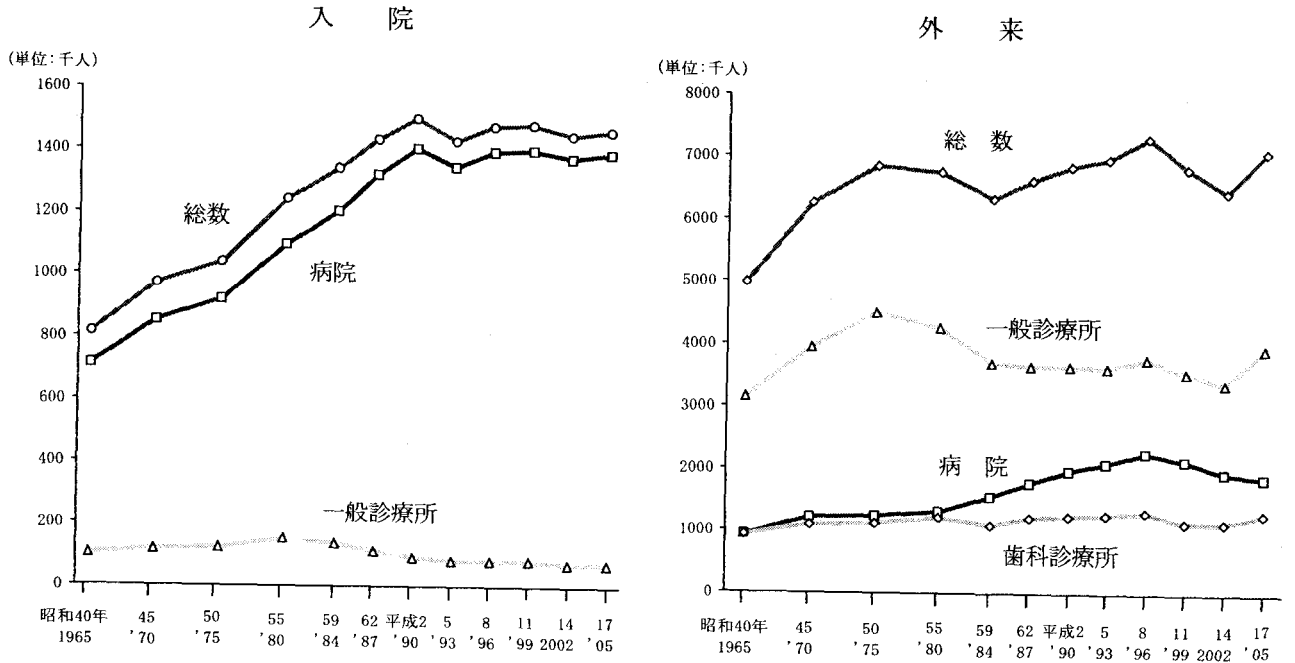
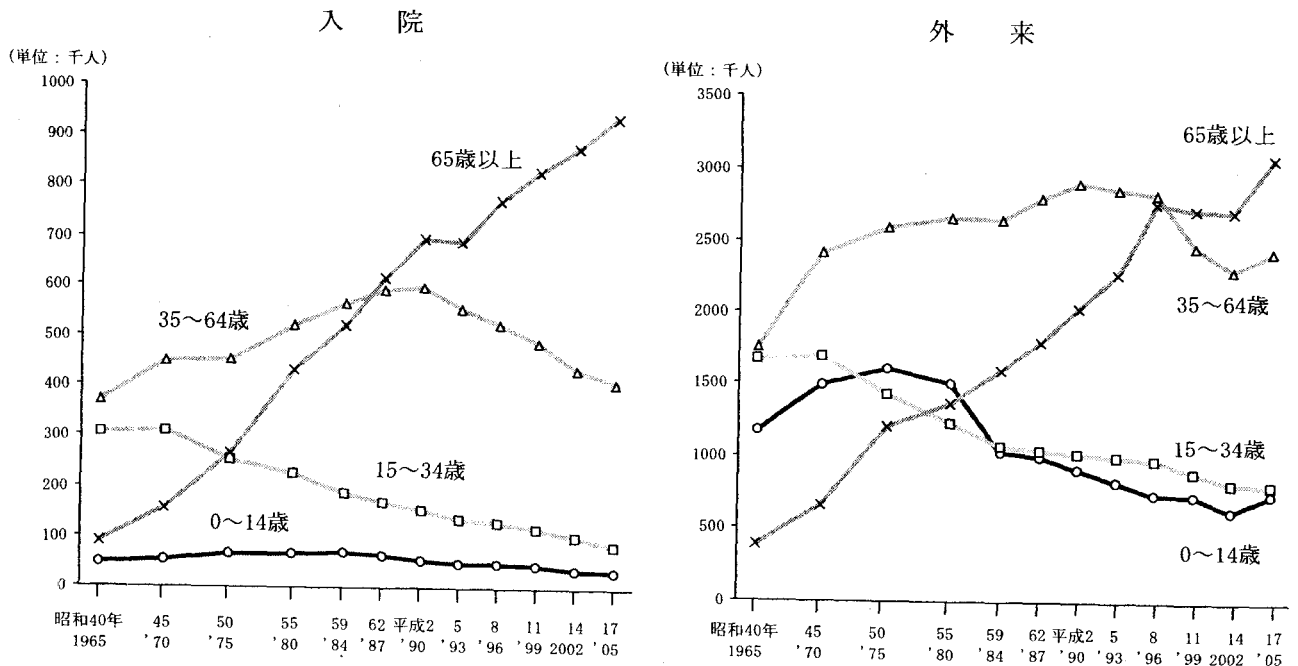


図2 年齢階級別にみた推計患者数の年次推移



(2) 傷病分類別

ア 入院患者

入院患者を傷病分類別にみると、多い順に「V 精神及び行動の障害」32万6千人（入院患者の22.3%）、「IX 循環器系の疾患」31万9千人（同21.8%）、「II 新生物」17万人（同11.6%）となっている。

病院では「V 精神及び行動の障害」32万3千人（病院入院患者の23.2%）、「IX 循環器系の疾患」30万3千人（同21.7%）、「II 新生物」16万5千人（同11.8%）の順となっている。

また、一般診療所では「IX 循環器系の疾患」1万6千人（一般診療所入院患者の22.8%）、「XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響」9千人（同12.7%）、「XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患」8千人（同11.6%）の順となっている。（表2）

表2 傷病分類別にみた施設の種別推計入院患者数・構成割合

平成17年10月

傷 病 分 類	推計患者数(千人)			構成割合(%)		
	総数	病院	一般診療所	総数	病院	一般診療所
総 数	1 462.8	1 391.6	71.2	100.0	100.0	100.0
I 感染症及び寄生虫症	27.2	25.9	1.3	1.9	1.9	1.8
結核 (再掲)	6.1	6.1	0.0	0.4	0.4	0.0
ウイルス肝炎 (再掲)	4.6	4.1	0.5	0.3	0.3	0.7
II 新生物	169.8	164.6	5.2	11.6	11.8	7.3
胃の悪性新生物 (再掲)	18.8	18.4	0.4	1.3	1.3	0.5
大腸の悪性新生物 (再掲)	19.4	18.9	0.5	1.3	1.4	0.7
肝及び肝内胆管の悪性新生物 (再掲)	11.2	10.2	1.0	0.8	0.7	1.4
気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	20.3	20.1	0.3	1.4	1.4	0.4
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	5.9	5.6	0.3	0.4	0.4	0.4
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	39.7	36.7	3.0	2.7	2.6	4.2
糖尿病 (再掲)	30.3	28.0	2.4	2.1	2.0	3.3
V 精神及び行動の障害	326.2	323.3	2.9	22.3	23.2	4.0
血管性及び詳細不明の認知症 (再掲)	54.0	52.6	1.5	3.7	3.8	2.1
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (再掲)	198.9	198.7	0.2	13.6	14.3	0.2
VI 神経系の疾患	97.3	93.9	3.4	6.7	6.7	4.8
VII 眼及び付属器の疾患	12.7	11.6	1.0	0.9	0.8	1.5
VIII 耳及び乳様突起の疾患	3.0	2.8	0.2	0.2	0.2	0.3
IX 循環器系の疾患	318.7	302.5	16.2	21.8	21.7	22.8
高血圧性疾患 (再掲)	11.6	9.3	2.3	0.8	0.7	3.2
心疾患（高血圧性のものを除く） (再掲)	60.2	57.3	2.9	4.1	4.1	4.1
脳血管疾患 (再掲)	233.6	223.5	10.2	16.0	16.1	14.3
X 呼吸器系の疾患	78.7	74.7	4.0	5.4	5.4	5.6
喘息 (再掲)	8.7	8.1	0.6	0.6	0.6	0.8
X I 消化器系の疾患	72.0	68.6	3.4	4.9	4.9	4.8
歯及び歯の支持組織の疾患 (再掲)	0.9	0.9	0.0	0.1	0.1	0.0
食道、胃及び十二指腸の疾患 (再掲)	11.7	10.9	0.8	0.8	0.8	1.2
肝疾患 (再掲)	12.7	11.9	0.8	0.9	0.9	1.1
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	9.5	9.1	0.4	0.6	0.7	0.5
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	68.8	60.5	8.3	4.7	4.4	11.6
X IV 尿路器系の疾患	46.2	42.2	4.0	3.2	3.0	5.6
X V 妊娠、分娩及び産じょく	19.0	14.4	4.6	1.3	1.0	6.4
X VI 周産期に発生した病態	6.2	6.0	0.1	0.4	0.4	0.2
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	5.8	5.7	0.1	0.4	0.4	0.1
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	23.8	22.5	1.3	1.6	1.6	1.8
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	122.5	113.5	9.1	8.4	8.2	12.7
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	9.8	7.2	2.6	0.7	0.5	3.7
歯の補てつ (再掲)	0.0	0.0	-	0.0	0.0	-

イ 外来患者

外来患者を傷病分類別にみると、多い順に「XI 消化器系の疾患」130万1千人（外来患者の18.3%）、「XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患」98万3千人（同13.9%）、「IX 循環器系の疾患」95万人（同13.4%）となっている。

病院では「IX 循環器系の疾患」28万8千人（病院外来患者の15.4%）、「XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患」22万5千人（同12.1%）、「II 新生物」16万2千人（同8.7%）の順となっている。

また、一般診療所では「XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患」75万8千人（一般診療所外来患者の19.2%）、「IX 循環器系の疾患」66万2千人（同16.8%）、「X 呼吸器系の疾患」61万3千人（同15.5%）の順となっている。（表3）

表3 傷病分類別にみた施設の種別推計外来患者数・構成割合

平成17年10月

傷病分類	推計患者数(千人)				構成割合(%)			
	総数	病院	一般診療所	歯科診療所	総数	病院	一般診療所	歯科診療所
総数	7 092.4	1 866.4	3 948.9	1 277.2	100.0	100.0	100.0	100.0
I 感染症及び寄生虫症	227.5	66.6	160.9	・	3.2	3.6	4.1	・
結核 (再掲)	3.1	2.7	0.4	・	0.0	0.1	0.0	・
ウイルス肝炎 (再掲)	79.4	30.2	49.3	・	1.1	1.6	1.2	・
II 新生物	204.6	161.5	43.1	・	2.9	8.7	1.1	・
胃の悪性新生物 (再掲)	19.3	15.1	4.2	・	0.3	0.8	0.1	・
大腸の悪性新生物 (再掲)	20.3	16.8	3.4	・	0.3	0.9	0.1	・
肝及び胆管内胆管の悪性新生物 (再掲)	8.0	5.4	2.7	・	0.1	0.3	0.1	・
気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	12.9	10.9	2.1	・	0.2	0.6	0.1	・
III 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	26.4	11.1	15.3	・	0.4	0.6	0.4	・
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	381.5	139.9	241.7	・	5.4	7.5	6.1	・
糖尿病 (再掲)	202.4	85.4	117.0	・	2.9	4.6	3.0	・
V 精神及び行動の障害	224.5	111.9	112.6	・	3.2	6.0	2.9	・
血管性及び詳細不明の認知症 (再掲)	12.0	4.7	7.3	・	0.2	0.3	0.2	・
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (再掲)	62.9	45.4	17.5	・	0.9	2.4	0.4	・
VI 神経系の疾患	143.2	68.8	74.5	・	2.0	3.7	1.9	・
VII 眼及び付属器の疾患	333.7	74.9	258.7	・	4.7	4.0	6.6	・
VIII 耳及び乳様突起の疾患	114.6	20.6	94.0	・	1.6	1.1	2.4	・
IX 循環器系の疾患	949.5	287.8	661.8	・	13.4	15.4	16.8	・
高血圧性疾患 (再掲)	644.2	126.2	518.0	・	9.1	6.8	13.1	・
心疾患（高血圧性のものを除く） (再掲)	142.6	73.5	69.1	・	2.0	3.9	1.8	・
脳血管疾患 (再掲)	122.9	69.2	53.7	・	1.7	3.7	1.4	・
X 呼吸器系の疾患	757.7	144.9	612.7	・	10.7	7.8	15.5	・
喘息 (再掲)	147.1	41.6	105.5	・	2.1	2.2	2.7	・
XI 消化器系の疾患	1 301.4	136.4	185.2	979.9	18.3	7.3	4.7	76.7
歯及び歯の支持組織の疾患 (再掲)	985.9	27.6	7.2	951.2	13.9	1.5	0.2	74.5
食道、胃及び十二指腸の疾患 (再掲)	166.4	54.8	111.6	・	2.3	2.9	2.8	・
肝疾患 (再掲)	47.9	18.8	29.1	・	0.7	1.0	0.7	・
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	266.6	57.3	209.3	・	3.8	3.1	5.3	・
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	983.1	225.2	758.0	・	13.9	12.1	19.2	・
XIV 尿路器系の疾患	252.0	116.8	135.2	・	3.6	6.3	3.4	・
XV 妊娠、分娩及び産じょく	14.5	6.8	7.7	・	0.2	0.4	0.2	・
XVI 周産期に発生した病態	2.0	1.6	0.4	・	0.0	0.1	0.0	・
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	12.0	8.6	3.4	・	0.2	0.5	0.1	・
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	76.3	38.1	38.1	・	1.1	2.0	1.0	・
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	303.9	119.6	181.2	3.1	4.3	6.4	4.6	0.2
XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	517.4	68.0	155.1	294.2	7.3	3.6	3.9	23.0
歯の補綴 (再掲)	267.5	5.1	1.0	261.4	3.8	0.3	0.0	20.5

(3) 病床の種類別

入院患者を病床の種類別にみると、病院では精神病床 32 万 4 千人、療養病床 32 万 5 千人、一般病床 73 万 7 千人となっている。一般診療所では療養病床が 2 万 3 千人となっている。

これを傷病分類別にみると、病院の一般病床では「II 新生物」15 万 6 千人（一般病床患者の 21.2%）、「IX 循環器系の疾患」12 万 9 千人（同 17.4%）、療養病床では「IX 循環器系の疾患」17 万 1 千人（療養病床患者の 52.7%）、「XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響」3 万 2 千人（同 9.9%）が多い。一般診療所の療養病床では「IX 循環器系の疾患」9 千人（療養病床患者の 37.5%）、「XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患」3 千人（同 13.8%）が多い。

(表 4)

表 4 傷病分類別にみた病床の種類別推計入院患者数

(単位：千人)

平成17年10月

傷病分類	総数	病院					一般診療所		
		精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	療養病床(再掲)		
総数	1 462.8	1 391.6	324.3	0.1	5.5	324.5	737.2	71.2	23.1
I 感染症及び寄生虫症	27.2	25.9	0.5	0.0	4.9	1.8	18.6	1.3	0.1
結核 (再掲)	6.1	6.1	0.1	0.0	4.6	0.3	1.1	0.0	0.0
ウイルス肝炎 (再掲)	4.6	4.1	0.0	0.0	0.0	0.6	3.5	0.5	0.1
II 新生物	169.8	164.6	0.2	0.0	0.1	8.1	156.3	5.2	0.5
胃の悪性新生物 (再掲)	18.8	18.4	0.0	-	0.0	1.0	17.4	0.4	0.1
大腸の悪性新生物 (再掲)	19.4	18.9	0.0	-	0.0	1.1	17.8	0.5	0.1
肝及び肝内胆管の悪性新生物 (再掲)	11.2	10.2	0.0	-	-	0.4	9.8	1.0	0.0
気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	20.3	20.1	0.0	0.0	0.0	0.7	19.3	0.3	0.0
III 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	5.9	5.6	0.0	0.0	0.0	0.7	4.9	0.3	0.0
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	39.7	36.7	0.4	-	0.0	9.8	26.5	3.0	1.0
糖尿病 (再掲)	30.3	28.0	0.1	-	0.0	8.3	19.5	2.4	0.8
V 精神及び行動の障害	326.2	323.3	293.0	-	0.0	22.2	8.1	2.9	1.5
血管性及び詳細不明の認知症 (再掲)	54.0	52.6	33.5	-	0.0	17.8	1.2	1.5	1.1
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (再掲)	198.9	198.7	196.5	-	0.0	1.5	0.8	0.2	0.1
VI 神経系の疾患	97.3	93.9	24.2	0.0	0.0	30.4	39.3	3.4	2.1
VII 眼及び付属器の疾患	12.7	11.6	0.0	-	-	0.2	11.5	1.0	0.0
VIII 耳及び乳様突起の疾患	3.0	2.8	0.0	-	0.0	0.2	2.6	0.2	0.1
IX 循環器系の疾患	318.7	302.5	2.8	-	0.1	171.1	128.5	16.2	8.7
高血圧性疾患 (再掲)	11.6	9.3	0.0	-	0.0	5.6	3.7	2.3	1.2
心疾患(高血圧性のものを除く) (再掲)	60.2	57.3	0.1	-	0.0	15.1	42.1	2.9	1.2
脳血管疾患 (再掲)	233.6	223.5	2.7	-	0.0	148.7	72.1	10.2	6.1
X 呼吸器系の疾患	78.7	74.7	0.2	0.0	0.3	9.6	64.7	4.0	0.7
喘息 (再掲)	8.7	8.1	0.0	0.0	0.0	1.0	7.1	0.6	0.2
XI 消化器系の疾患	72.0	68.6	0.2	0.0	0.0	5.7	62.6	3.4	0.6
歯及び歯の支持組織の疾患 (再掲)	0.9	0.9	0.0	-	-	0.0	0.9	0.0	0.0
食道、胃及び十二指腸の疾患 (再掲)	11.7	10.9	0.0	-	0.0	1.3	9.5	0.8	0.2
肝疾患 (再掲)	12.7	11.9	0.1	0.0	0.0	1.8	10.1	0.8	0.1
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	9.5	9.1	0.0	-	0.0	1.0	8.1	0.4	0.1
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	68.8	60.5	0.1	-	0.0	18.5	42.0	8.3	3.2
XIV 尿路系系の疾患	46.2	42.2	0.1	0.0	0.0	7.5	34.5	4.0	0.9
XV 妊娠、分娩及び産じょく	19.0	14.4	0.0	-	-	0.0	14.4	4.6	-
XVI 周産期に発生した病態	6.2	6.0	0.0	-	-	0.0	6.0	0.1	-
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	5.8	5.7	0.1	-	-	0.6	5.0	0.1	0.0
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	23.8	22.5	0.8	0.0	0.0	3.9	17.7	1.3	0.4
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	122.5	113.5	1.3	-	0.0	32.0	80.2	9.1	2.9
XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	9.8	7.2	0.4	0.0	0.0	1.2	5.5	2.6	0.3
歯の補てつ (再掲)	0.0	0.0	-	-	-	-	0.0	-	-

(4) 在宅医療の状況

調査日に在宅医療を受けた推計患者数は、6万5千人であり、これを施設の種別別にみると、病院は1万3千人、一般診療所は4万9千人、歯科診療所は3千人となっている。

在宅医療の種別別にみると、総数では「往診」2万5千人、「訪問診療」3万5千人、「医師・歯科医師以外の訪問」6千人となっている。これを施設の種別別にみると、病院では「往診」5千人、「訪問診療」5千人、一般診療所では「往診」1万9千人、「訪問診療」2万7千人、歯科診療所では「訪問診療」3千人となっている。

年齢階級別にみると、年齢が高くなるにつれて在宅医療を受ける割合が増加し、65歳以上の外来患者307万8千人の1.8%（5万5千人）が在宅医療を受けている。また、在宅医療を受けている患者の85.3%が65歳以上となっている。（表5）

表5 年齢階級別にみた在宅医療を受けた推計患者数

(単位：千人)

平成17年10月

	推計外来患者数	(総数)				(病院)				(一般診療所)				(歯科診療所)		
		在宅医療	往診	訪問診療	医師・歯科医師以外の訪問	在宅医療	往診	訪問診療	医師・歯科医師以外の訪問	在宅医療	往診	訪問診療	医師・歯科医師以外の訪問	在宅医療	訪問診療	歯科医師以外の訪問
総数	7 092.4	64.8	24.5	34.5	5.9	12.6	5.4	4.7	2.5	49.4	19.1	27.2	3.2	2.8	2.6	0.2
0～14歳	744.6	0.6	0.6	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.5	0.5	-	-	-	-	-
15～34	807.6	1.7	1.2	0.3	0.1	0.9	0.7	0.1	0.1	0.8	0.5	0.2	0.0	0.0	0.0	-
35～64	2 442.9	7.2	3.7	2.4	1.1	3.3	2.0	0.5	0.8	3.5	1.7	1.5	0.2	0.4	0.3	0.0
65歳以上	3 077.8	55.3	19.0	31.7	4.7	8.3	2.7	4.1	1.6	44.6	16.3	25.3	2.9	2.4	2.2	0.2
(再掲)																
70歳以上	2 378.8	52.6	17.7	30.5	4.4	7.7	2.4	3.9	1.4	42.8	15.4	24.6	2.8	2.1	2.0	0.1
75歳以上	1 523.1	48.0	16.0	28.3	3.8	6.7	2.0	3.6	1.2	39.5	14.0	23.0	2.5	1.9	1.7	0.1

注：1 総数には、年齢不詳を含む。

- 2 「往診」とは、患者の求めに応じて患者に赴いて診療するものをいい、診療報酬では往診料を算定したものをいう。
- 3 「訪問診療」とは、居宅において療養を行っている患者であって、通院が困難な者に対して、その同意を得て計画的な医学管理の下に、定期的に医師・歯科医師が訪問して診療を行うものをいう。
- 4 「医師・歯科医師以外の訪問」とは、居宅において療養を行っている患者であって、通院が困難な者に対して、その同意を得て計画的な医学管理の下に、定期的に医師・歯科医師以外の者が訪問して実施されるものをいう。

(5) 紹介の状況

患者の紹介の状況をみると、入院患者で紹介のあった者は47.4%、外来患者では8.2%となっている。これを施設の種別別にみると、入院患者では病院48.1%、一般診療所33.8%、外来患者では病院13.2%、一般診療所5.8%となっている。

紹介元としては、病院の入院患者では「病院から」62.7%、「一般診療所から」16.5%、「介護老人保健施設から」5.2%、「介護老人福祉施設から」2.5%となっており、一般診療所の入院患者では、「病院から」67.7%、「一般診療所から」14.4%、「介護老人保健施設から」9.7%、「介護老人福祉施設から」2.1%となっている。

また、病院の外来患者では、「病院から」44.4%、「一般診療所から」37.6%、「歯科診療所から」2.0%、「介護老人保健施設から」0.8%、「介護老人福祉施設から」0.8%となっており、一般診療所の外来患者では「病院から」50.8%、「一般診療所から」23.0%、「介護老人保健施設から」2.3%、「介護老人福祉施設から」2.3%となっている。(表6)

表6 施設の種別別にみた紹介あり患者の状況

平成17年10月

	総数 推計患者数 (千人)	紹介あり 推計患者数 (千人)	(紹介元)						
			構成割合 (%)						
				病院から	一般診療所から	歯科診療所から	介護老人保健施設から	介護老人福祉施設から	その他から
入院	1 462.8	693.5 (47.4%)	100.0	62.8	16.4	0.1	5.3	2.5	12.8
病院	1 391.6	669.4 (48.1%)	100.0	62.7	16.5	0.1	5.2	2.5	13.0
一般診療所	71.2	24.1 (33.8%)	100.0	67.7	14.4	-	9.7	2.1	6.1
外来	5 815.2	475.2 (8.2%)	100.0	47.5	30.6	1.4	1.5	1.6	17.5
病院	1 866.4	246.3 (13.2%)	100.0	44.4	37.6	2.0	0.8	0.8	14.4
一般診療所	3 948.9	228.9 (5.8%)	100.0	50.8	23.0	0.7	2.3	2.3	20.8

- 注：1 外来には、歯科診療所の推計患者数は含まれていない。
 2 ()内は推計患者数のうち、紹介のあった者の割合である。
 3 「病院から」とは、病院の医師・歯科医師の紹介によるものをいう。
 4 「一般診療所から」とは、一般診療所の医師・歯科医師の紹介によるものをいう。
 5 「歯科診療所から」とは、歯科診療所の医師・歯科医師の紹介によるものをいう。
 6 「介護老人保健施設から」とは、介護老人保健施設の医師・歯科医師の紹介によるものをいう。
 7 「介護老人福祉施設から」とは、介護老人福祉施設の医師・歯科医師の紹介によるものをいう。
 8 「その他から」とは、紹介があるが、上記3～7に記載した施設以外からの場合をいう。

(6) 救急の状況

患者の救急の状況をみると、入院患者のうち入院の際に救急であった者は19万7千人（入院患者の13.4%）、外来患者のうち救急であった者は5万7千人（外来患者の1.0%）となっている。

これを施設の種類別にみると、入院患者では病院19万4千人、一般診療所3千人、外来患者では病院4万7千人、一般診療所1万人となっている。

施設の種類別に救急の状況をみると、病院の入院患者では「救急車により搬送」12万1千人（病院入院患者の8.7%）、「救急外来を受診」9万1千人（同6.6%）、「診療時間外の受診」8万8千人（同6.3%）となっており、一般診療所の入院患者では「救急車により搬送」2千人（一般診療所入院患者の2.4%）、「診療時間外の受診」2千人（同2.3%）となっている。

また、病院の外来患者では「救急車により搬送」1万5千人（病院外来患者の0.8%）、「救急外来を受診」2万6千人（同1.4%）、「診療時間外の受診」2万8千人（同1.5%）となっており、一般診療所の外来患者では「救急車により搬送」2千人（一般診療所外来患者の0.1%）、「救急外来を受診」3千人（同0.1%）、「診療時間外の受診」7千人（同0.2%）となっている。

（表7）

表7 施設の種類別にみた救急の状況（複数回答）

平成17年10月

	総数 推計患者数 (千人)		救 急 (複数回答)								救急以外	
			総 数 (千人)		救急車に より搬送		救急外来 を受診		診療時間外 の受診			
	構成割合	構成割合	構成割合	構成割合	構成割合	構成割合	構成割合	構成割合	構成割合			
入 院	1 462.8	100.0%	196.7	13.4%	122.3	8.4%	91.2	6.2%	89.1	6.1%	1 266.1	86.6%
病 院	1 391.6	100.0%	193.6	13.9%	120.6	8.7%	91.2	6.6%	87.5	6.3%	1 198.0	86.1%
一般診療所	71.2	100.0%	3.1	4.3%	1.7	2.4%	0.0	0.1%	1.6	2.3%	68.1	95.7%
外 来	5 815.2	100.0%	57.4	1.0%	16.8	0.3%	28.9	0.5%	35.2	0.6%	5 757.8	99.0%
病 院	1 866.4	100.0%	47.1	2.5%	14.7	0.8%	26.0	1.4%	28.0	1.5%	1 819.2	97.5%
一般診療所	3 948.9	100.0%	10.3	0.3%	2.1	0.1%	2.9	0.1%	7.1	0.2%	3 938.5	99.7%

注：1 外来には、歯科診療所の推計患者数は含まれていない。

2 ()内は、救急であった者に対する割合である。

3 「救急車により搬送」とは、救急車で搬送され受診したものをいう。

4 「救急外来を受診」とは、救急外来窓口を經由して受診したものをいう。

5 「診療時間外の受診」とは、医療施設が表示する診療時間外に受診したものをいう。

(7) 都道府県別にみた推計流入・流出患者の状況

全国では、入院患者の5.8% (8万4千人)、外来患者の2.5% (17万4千人) が患者の住所地と異なる都道府県の医療施設を利用している (表8、統計表5)。

表8 都道府県別にみた推計流入・流出患者数及び割合

平成17年10月

		推計患者数 (千人)				推計患者数に対する割合 (%)			
		入 院		外 来		入 院		外 来	
		推計流入患者数	推計流出患者数	推計流入患者数	推計流出患者数	推計流入患者割合	推計流出患者割合	推計流入患者割合	推計流出患者割合
総数		83.7	83.7	173.6	173.6	5.8	5.8	2.5	2.5
北海道		0.4	0.3	0.6	0.9	0.4	0.3	0.2	0.3
青森		0.5	0.5	1.4	0.6	3.0	2.8	1.6	0.7
岩手		0.6	0.7	0.7	0.9	3.5	3.9	0.9	1.2
宮城		0.8	0.5	0.8	0.9	3.2	2.3	0.7	0.7
秋田		0.3	0.4	0.4	0.4	1.8	2.7	0.5	0.6
山形		0.3	0.3	0.4	0.5	2.1	2.2	0.5	0.7
福島		0.7	0.6	1.1	0.9	2.7	2.3	1.0	0.8
茨城		2.2	2.4	3.5	8.8	8.0	8.7	2.6	6.2
栃木		1.7	1.1	5.0	2.8	8.6	5.9	4.6	2.7
群馬		1.7	0.9	4.1	1.4	7.9	4.4	3.7	1.3
埼玉県		7.3	7.9	6.3	29.0	13.5	14.5	2.0	8.7
千葉県		5.9	4.4	6.6	17.5	12.3	9.4	2.4	6.2
東京都		15.4	17.0	65.7	16.0	14.2	15.4	8.8	2.3
神奈川県		5.4	8.2	8.8	24.6	8.4	12.1	2.2	6.0
新潟県		0.3	0.6	0.6	0.8	1.3	2.1	0.5	0.7
富山県		0.5	0.3	0.5	0.3	3.1	2.0	0.8	0.6
石川県		0.6	0.2	0.5	0.3	3.0	1.4	0.7	0.4
福井県		0.3	0.3	0.2	0.8	2.4	2.9	0.5	1.7
山梨県		0.8	0.5	0.4	1.4	8.5	5.4	1.0	3.2
長野県		0.5	0.6	1.1	0.9	2.6	2.8	0.9	0.8
岐阜県		0.9	1.7	2.0	2.7	4.6	8.7	1.7	2.3
静岡県		2.2	1.3	2.0	1.6	6.5	4.0	1.1	0.8
愛知県		2.7	1.7	4.4	2.6	4.3	2.7	1.1	0.7
三重県		0.9	1.1	0.9	1.9	5.0	5.8	0.8	1.8
滋賀県		0.7	1.1	1.0	2.1	5.2	8.4	1.3	3.0
京都府		2.6	1.8	5.6	6.6	8.1	6.0	3.8	4.5
大阪府		6.9	4.9	17.4	8.1	7.3	5.3	3.4	1.6
兵庫県		2.8	4.1	5.5	9.2	4.9	7.1	1.6	2.6
奈良県		1.3	1.8	3.0	4.7	9.5	12.1	4.1	6.4
和歌山県		0.8	1.0	1.4	1.3	6.2	7.8	2.0	1.9
鳥取県		0.6	0.2	1.1	0.3	7.3	2.7	3.2	0.9
島根県		0.4	0.8	0.5	1.1	3.8	7.4	1.1	2.4
岡山県		1.1	0.7	1.3	1.2	4.4	2.8	1.1	1.0
広島県		1.6	1.1	2.5	1.6	4.0	2.8	1.3	0.8
山口県		0.7	1.2	1.2	1.1	2.6	4.3	1.2	1.2
徳島県		0.6	0.5	0.4	0.5	4.2	3.1	0.8	0.9
香川県		0.5	0.4	0.7	0.7	3.3	2.9	1.0	1.1
愛媛県		0.4	0.7	0.5	1.4	1.7	3.1	0.6	1.5
高知県		0.2	0.4	0.2	0.3	1.3	2.2	0.4	0.7
福岡県		3.8	2.5	5.7	3.7	4.6	3.0	1.8	1.2
佐賀県		1.6	1.5	1.8	3.1	10.3	9.7	3.0	5.0
長崎県		0.5	1.0	0.8	1.1	2.0	3.8	0.8	1.2
熊本県		1.1	1.1	1.3	2.3	3.0	3.0	1.1	1.9
大分県		0.8	1.0	1.4	1.5	3.8	4.6	2.0	2.1
宮崎県		0.8	0.8	1.8	0.5	4.4	4.4	2.5	0.7
鹿児島県		0.6	1.3	0.6	2.2	1.7	3.7	0.5	2.0
沖縄県		0.2	0.1	0.2	0.2	1.0	0.6	0.4	0.4

- 注： 1 推計流入患者数 = 当該県内の医療施設で受療した当該県外に居住する推計患者数
- 2 推計流出患者数 = 当該県外の医療施設で受療した当該県内に居住する推計患者数
- 3 推計流入患者割合 = $\frac{\text{当該県内の医療施設で受療した当該県外に居住する推計患者数}}{\text{当該県内の医療施設で受療した推計患者数 (住所不詳を除く)}} \times 100$
- 4 推計流出患者割合 = $\frac{\text{当該県外の医療施設で受療した当該県内に居住する推計患者数}}{\text{当該県内に居住する推計患者数}} \times 100$